

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-160494(P2013-160494A)

【公開日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-044

【出願番号】特願2012-25845(P2012-25845)

【国際特許分類】

F 24 H 1/18 (2006.01)

F 24 H 9/06 (2006.01)

【F I】

F 24 H 1/18 A

F 24 H 9/06 301 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月4日(2014.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湯を貯留する貯湯タンクと、

前記貯湯タンクの少なくとも一部を覆う形状に成形された成形断熱材と、

前記貯湯タンクおよび前記成形断熱材を収容する外装ケースと、

前記成形断熱材を外部の支持構造体に連結し、地震時に前記貯湯タンクの揺れを抑制する連結手段と、

を備える貯湯式給湯機。

【請求項2】

前記連結手段は、前記成形断熱材に固定された固定部材と、前記固定部材と前記支持構造体とを連結する連結部材とを有する請求項1記載の貯湯式給湯機。

【請求項3】

前記固定部材は、前記成形断熱材の成形時にインサート成形を行うことにより前記成形断熱材と一体化されている請求項2記載の貯湯式給湯機。

【請求項4】

前記固定部材および前記連結部材は、前記外装ケースと固定されている請求項2または請求項3記載の貯湯式給湯機。

【請求項5】

前記成形断熱材は、前記貯湯タンクの上部領域を覆っている請求項1乃至4の何れか1項記載の貯湯式給湯機。

【請求項6】

前記成形断熱材は、前記外装ケースの内壁に当接している請求項1乃至5の何れか1項記載の貯湯式給湯機。

【請求項7】

前記成形断熱材は、前記外装ケースの前面、背面、右側面および左側面の内壁に対してそれぞれ当接している請求項1乃至5の何れか1項記載の貯湯式給湯機。

【請求項8】

前記外装ケースは、前面板、背面板、右側板、左側板および天板を有し、

前記成形断熱材は、前記前面板、前記背面板、前記右側板および前記左側板と前記天板とが重なる部分の少なくとも一部に当接している請求項1乃至5の何れか1項記載の貯湯式給湯機。

【請求項9】

前記成形断熱材と前記外装ケースの天板とが固定されており、

前記連結手段は、前記外装ケースの天板と前記支持構造体とを連結する請求項1乃至8の何れか1項記載の貯湯式給湯機。